

各公立高等学校長
各私立高等学校長 様

静岡県教育委員会高校教育課
課長 中村大輔
静岡県高等学校教育研究会
会長 鈴木敏彦
(静岡県立浜松北高等学校長)
静岡県高等学校英語教育研究会
会長 山崎裕子
(静岡県立浜名高等学校長)

2025HPDU連盟杯静岡県大会（英語パーラメンタリーディベート静岡県大会
フレンドリーマッチ）及び事前学習会の実施について（通知）

日頃は静岡県高等学校英語教育研究会の活動に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、同研究会では、静岡県教育委員会との共催事業「英語ディベート学習」の一環として、表題の大会、ならびにフレンドリーマッチ、及び事前学習会を、下記のとおり開催いたします。

つきましては、関係職員及び生徒に対し、本大会について御周知いただくとともに、大会、フレンドリーマッチ及び事前学習会への参加について御推奨くださいますよう、お願いいたします。

記

1 静岡県大会(本戦部門)

- (1) 日時 令和7年2月9日(日) 午前9時00分から午後5時まで
(受付開始 午前8時30分)
- (2) 会場 静岡県立清水東高等学校 (静岡県清水区秋吉町5-10)

(3) 試合形式等

- ア 4試合を行う。
- イ 参加チームは3名編成とするが、選手登録は4名まで可能とする。
- ウ 対戦形式およびルールは、全国大会に準ずる。

※全国大会対戦形式(=HPDU連盟杯形式)については、別紙「パーラメンタリーディベートの各スピーカーの役割と試合展開」を参照してください。

◆準備(20分)⇒1st Government Speaker(5分)⇒1st Opposition Speaker(5分)⇒2nd Government Speaker(5分)⇒2nd Opposition Speaker(5分)⇒Government Whip(5分)⇒Opposition Whip(5分)⇒Opposition Reply(4分)⇒Government Reply(4分)

◆Point of Information(POI)は開始30秒後～終了30秒前まで可能だが、ReplyでのPOIは禁止

(4) 申し込み

参加希望出場校は以下の両方のエントリーが必要です。

1次エントリー（プレエントリー）

プレエントリーはHPDUのホームページにて所定の手続きをしてください。

※プレエントリー受付期間は、**11月上旬から12月上旬まで**となっています。県大会に出場予定の高校はHPDUのホームページからその期間内に必ず手続きを済ませてください。プレエントリーで静岡県の代表校数が決まるので、必ずプレエントリーを行ってください。

※エントリー方法等でわからない場合は、藤枝明誠・望月までお問い合わせください。

2次エントリー

上記プレエントリー完了後、以下のURLまたはQRコードで**令和6年1月28日（火）までに**申し込みをしてください。

<https://forms.gle/LaCfg88V2S9pnbs26>



(5) その他

ア 1校1チームの参加とする。1チームの登録人数は4人までとし、試合ごとの出場選手入れ替えを認める。ただし、**各試合の参加者3名は当該試合の論題発表前に決定することとし、その3名以外の者はその試合の準備には参加できない。**

イ 静岡県大会で優勝したチームが、令和7年3月に東京で開催される予定の全国大会に、静岡県代表として出場する。また、2位以下についてもHPDUのプレエントリー状況によって、代表校となる可能性がある。

ウ 県大会参加を予定している学校は、ルールや試合進行を理解するためにも、1月12日に開催する事前学習会（下記3参照）への参加を強く推奨する。

エ 試合に引き分けはない。各試合でスピーカーそれぞれにスピーカースコアが与えられる。順位は①「勝ち数」、②「スピーカースコアの合計」、③「スピーカースコアの各試合の平均値の標準偏差」の順で判定し決定する。

オ 2試合目以降の組み合わせはパワーペアリングを原則とし、組み合わせ発表連絡にはスマートフォンを使用する。基本的に同じ勝ち数同士の対戦になるが同じ勝ち数を持ったチームが奇数の場合は次に勝ち数が多いチームと対戦する（例：2勝したチームが5チームいた場合、5チームの下位1チームは1勝のチームと対戦する）。

カ HPDUのホームページに、第14回HPDU連盟杯(全国大会)の要項が掲載されているので確認すること。<https://www.hpdu.jp/>

※ 過去の県大会で、プレパレーションタイムに入っても登録選手4人でディスカッションを行っていたり、電子機器を使おうとした違反の報告がありました。学習会でもルールに関するレクチャーを行いますが、本戦時、HPDUのパラメンタリ

ーディベートのルール違反があった場合には、指導だけでなく、当該試合を不戦敗扱いとし、全国大会への出場を認めないこともあります。ルールの理解と遵守を徹底してください。

2 フレンドリーマッチ(交流戦部門)

- (1) 全国大会の出場校を決定する「本戦部門」は上記に記載の通り。
- (2) 「フレンドリーマッチ部門」は、本戦部門と同一・同会場で行われる交流試合を行うことを目的とした部門である。事前に対戦表が組まれており、順位付けは行わない。したがって、全国大会へはつながらないため、上記のプレエントリーなどはする必要はない。具体的な試合方式は以下の通り。
 - ア 対戦形式、ルールおよびタイムスケジュールは本戦部門と同じとする。
 - イ 本戦部門に登録している選手がフレンドリーマッチに出場すること(二重登録)は不可とする。
 - ウ 論題は「静英研Parliament Debate Motion100撰」より出題する(必要な学校には後日最新版をお送りします)。
 - エ 各スピーカーのスコアは付けず、各試合勝敗決定のみ行う。順位決定も行わない。
 - オ メンバーの事前登録は不要。チーム内でのメンバーの入れ替えは自由とする。
 - カ 各試合の参加者には静英研より参加証明書を発行する。
 - キ 自校で人数が揃わない場合は他校との合同チームでも出場可能とする。その際はその旨をエントリー時に記載すること。
 - ク 参加校は必ずジャッジを出すこと。(事前学習会で具体的なジャッジ方法を学びます。)なお、パラメンタリーディベート経験のある高校3年生もジャッジとして認める。
 - ケ フレンドリーマッチに参加希望の場合には以下のURLまたはQRコードから申し込みを行う。

<https://forms.gle/F3VYxHowVfXfMFQp9>



3 事前学習会

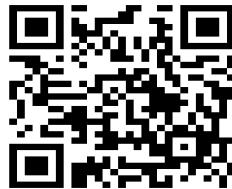
- (1) 日 時
令和7年1月12日(日) 午前9時00分から午後4時まで
(受付開始 午前9時00分)
- (2) 場 所
静岡県立清水東高等学校(静岡市清水区秋吉町5-10)
- (3) 参加者
ア 上記県大会に出場する学校の生徒及び教員で参加を希望する者。
イ パラメンタリー・ディベートに興味・関心のある生徒及び教員。
- (4) 内 容
講師による試合方式や議論の構築、反論方法の講義及び練習試合を実施する。本年度はHPDUに向けた以下の6つのレクチャー(生徒・教員向け)と授業用パラメンタリーディベート(PDA)のオンラインレクチャー(教員向け)を行う。

- ・ 上級コース (HPDU全国大会で活躍したい人向け)
 - ・ 中級コース① (Engagement－反論やWhipについて学ぶ)
 - ・ 中級コース② (Case building－より効果的なArgumentの構築について学ぶ)
 - ・ 中級コース③ (Matter session－politics, feminism, criminal justiceなど議論の中心になる上で重要な考え方を学ぶ)
 - ・ 初中級コース (議論や反論について基礎的なところから幅広く学ぶ)
 - ・ 初級コース (パラメンタリーディベート自体が初めてで、ルールや議論、反論について基本的なところから学ぶ)
 - ・ PDAコース (教員向け 授業用に設計されたPDAディベートについて学ぶ)
- ※どのコースで受講しても県大会やフレンドリーマッチには出場できます。

(5) 申し込み

以下のURLまたはQRコードで申し込みを行う。令和6年12月23日(月)までにフォームを送る。

<https://forms.gle/ofcysL14VoVemYic8>



(6) その他

昼食を持参すること(上履きは不要です)

担 当	ディベート普及委員会 委 員 望月 雄大 (藤枝明誠高等学校教諭)
電 話	054-635-8155
メー ル	hidalgo_yuta1230@yahoo.co.jp

(別紙)

パラメンタリーディベートの各スピーカーの役割と試合展開

AFF (Government) side

NEG (Opposition) side

サイド発表→論議発表

Preparation Time (準備時間) 20minutes

出場選手の3名のみが指定された場所で準備に参加。電子辞書を除く電子機器(スマートフォン、タブレット等)の使用これ以降不可。印刷物およびあらかじめ用意したノート類の使用は可。

試合開始

壇上へは印刷されたプリントおよびあらかじめ用意したノート類の使用は可。書籍の壇上への持ち込みは不可、試合中に他の選手からメモ等の手渡しも禁止。

Adjudicator(審査員)による勝敗説明

スピーチの流れと役割(話す順序は①～⑧)

<p>①Prime Minister (PM) 5min</p> <ul style="list-style-type: none">・ 論題の model と definition(introduction)・ チームスタンス(導入の目的)・ 1st argument (メリット①)	<p>②Leader of the Opposition (LO) 5min</p> <ul style="list-style-type: none">・ PM 1st argument への反論・ チームスタンス(導入すべきでない目的)・ 1st argument (デメリット①)
<p>③Deputy Prime Minister (DPM) 5min</p> <ul style="list-style-type: none">・ LO 1st argument への反論・ PM 1st argument の建て直し(support)・ 2nd argument (メリット②)	<p>④Deputy Leader of the Opposition (DLO) 5min</p> <ul style="list-style-type: none">・ 相手の 1st argument の建て直し & 2nd argument への反論・ LO 1st argument の建て直し(support)・ 2nd argument (デメリット②)
<p>⑤Government Whip (GW) 5min</p> <ul style="list-style-type: none">・ 相手の 1st argument の建て直し & 2nd argument への反論・ criteria を見つけて比較して、相手を落とす(ひたすら比較して反論するイメージです) <p>※新しい argument は出せません</p>	<p>⑥Opposition Whip (OW) 5min</p> <ul style="list-style-type: none">・ criteria を見つけて比較して、相手を落とす(ひたすら比較して反論するイメージです) <p>※新しい argument は出せません</p>
<p>⑧Prime Minister Reply (PMR) 4min</p> <ul style="list-style-type: none">・ ディベート全体を比較し、何故自分たちのサイドが優位かを説明する <p>※新しい argument, refutation はできません</p>	<p>⑦Leader of the Opposition Reply (LOR) 4min</p> <ul style="list-style-type: none">・ ディベート全体を比較し、何故自分たちのサイドが優位かを説明する <p>※新しい argument, refutation はできません</p>

※PMRはPMかDPM、LORはLOかDLOが行います(順序もLOR→PMRの順です!)